

極秘

114
A 798
3

第一種

本報 雜報の號一五

明治三十一年七月四日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉特澤右一第二十七報告

一 米、遠征軍本月中旬到着スヘントノ説有力カハ外人間ニ行ハル

二 米ノ馬尼刺攻撃ハ「メリ」中將到着後ニ開始スル

三 米ノ第一遠征隊ハ「バコール」附近ニ上陸セス「カヴィテ」城内ニ在リ

四 「アギナルド」ハ米兵カ「カヴィテ」市内ニ入ルヲ拒絶セリ

「ヂェールウエー」提督ハ「アギナルド」ト交渉スルハ實ニ近來不愉快ナリトノ口氣ヲ漏セリ（水源保護ノ件ニ對シ）

265
5-3



五、領事ヨリノ照會、對シテ其他ノ密報ニ徵スルニ米ト反徒トノ間、漸次冷却ノ傾向アリ
西班牙軍ハ日々朱引外ノ村落ヲ燒燬ス馬尼刺城外ノ清掃作業ハ大ニ捗リ四百米以上ノ射界ヲ有スルニ至レリ

六、馬尼刺總督「アウグスチン」ハ柔軟ノ傾キアリ之ニ反シ參謀長「テヘロー」ハ頗ル強硬ノ意見ヲ持ス有志者叛徒ト西班牙ノ向ヲ或ル條件下ニ調停ヲ試ミントスルモ「テヘロー」氏多クハ肯カス

七、調停策ハ到底望ミ無シ
「アギナルド」ハ獨國領事、宛テタル文書ニ「タガロ語ヲ以テ「西班牙人、對スル勝利者大統領「アギナルド」ノ語ヲ用ヒタリ

と

八、陸上ニ於テハ獨英依然相反目ス

九、反徒ハ獨逸ト好カラス土人ハ獨艦ニ菓菜ヲ賣ラス

十、「バムバムガ」州ノ土人ハ之リ「バムバムゴ」ト稱シ「タガロ」人種トハ少シク言語風習ヲ異ニシ古來相親ニサリレカ過日

「バムバムガ」州ニ於テ西人種ノ小戦闘起リ今尚ホ止マズ

「バムバムガ」人ハ同人種ノミニノ獨立ヲ希望セリ

「バムバム」人約二千（其大部ハ小銃ヲ有ス）「アギナルド」

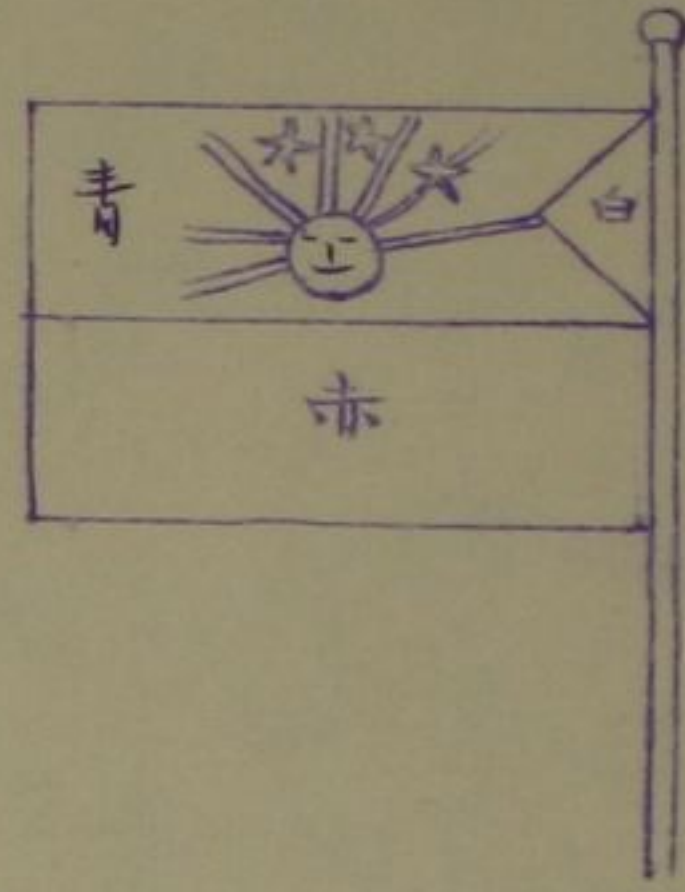
ノ増援トシテ本日「マルキナ」ニ着ス（馬尼刺ノ東北十

五吉羅ニアリ）同人種ハ古來悍悍ノ向ヘアリ或ハ近日

此方面ニ激烈ナル戦闘アラシカ

曩ニ報告セシ反徒ノ旂章ニ誤謬アリ茲ニ訂正ス

其、曩ニ報告セシ反徒ノ旂章ニ誤謬アリ茲ニ訂正ス



十三、ブラカン州「マカベベ」ノ土人大佐「ブランコ」ハ依然西班牙
 牙ニ忠實ナリ
 十四、「アギナルド」ハ尚ホ「カヴィテ」ニ在リ
 十五、及後ハ米ニ先ツテ馬尼刺ヲ攻撃スト聲言ス
 馬尼刺攻撃ハ本月中旬以前ニハ起ラサルヘシ
 米軍目下ノ陸兵ノミヲ以テ馬尼刺ヲ攻撃シ占領セン
 到底不可能ノ事ナリ

第二遠征隊到着後ト雖兵人ヲ損スルト多クキヲ以テ陸兵
 單獨ノ攻撃ノ多ク行ハサルヘシ即チ海上ト戮力セサレハ
 奏功尙東ナシ
 而シテ砲撃ノ時機ハ未定ナリ
 及後ノ獨力ヲ以テ馬尼刺城ヲ陥落セントハ尚ホ有力
 ナル火砲ヲ手に入ルニ非レハ奏功セサルヘシ
 殊ニ「アギナルド」ハ頗ル懐柔策ヲ執リ多ク衆ヲ殺傷
 スルヲ好ムスト聲言シ急激ナル衝突ヲ避クルモノ、如シ
 蓋シ勝算少ナケレハナリ
 然レモ「アロウクハウス」ノ線ヲ破リ市内ヲ占領スルハ至難ノ
 業ニ非ラス近日事實トシテ之ヲ見ルモ亦知ル可ラス
 結局馬尼刺問題ハ尚ホ未定、属ス (終)

